

平成 21 年 11 月

札幌市立大学助産学専攻科 の概要 《予定》

札幌市立大学では、平成22年4月に助産学専攻科を開設することとし、10月末、文部科学省に対し助産師学校の指定申請を行いました。

なお、下記の内容は予定であり、今後、変更する場合がありますので、確定後の内容につきましては、指定を受けた後に配布する学生募集要項等でご確認ください。

1 目 的

本専攻科は、看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的とします。

2 修業年限：1年

3 入学定員：10人

4 入学者選抜について

(1) アドミッションポリシー（入学者受入れ方針）

上記1の目的を達成するために、本専攻科が求める学生像は次のとおりです。

- ・ 「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実で優しい人
- ・ 看護学を基盤に、倫理観を持ち、主体的に「助産学」を積み重ねることができる人
- ・ 広い視野で現代社会をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決を追究できる人

(2) 出願資格

本専攻科の出願資格は、入学年度の4月1日に、次の各号に掲げる要件のいずれかに該当する女性で、かつ、看護師資格を有する者又は出願時において看護師国家試験の受験資格を有する者(取得見込みの者を含む)です。ただし、入学時には、看護師国家試験に合格していることが必要です。

ア 大学（短期大学を除く。）を卒業した者

イ 学士の学位を授与された者

ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

カ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

キ 文部科学大臣の指定した者

(3) 選抜日程

出願期間：平成22年2月8日(月)～15日(月)

試験日：平成22年3月3日(水)

合格発表：平成22年3月17日(水)

※ 上記日程は現時点の予定です。また、文部科学省から指定を受ける時期は1月末の予定のため、学生募集要項の配布は2月上旬からとなる見込みです。

(4) 選抜方法

入学者の選抜は、専門科目（看護学一般）の筆記試験、小論文、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行います。

5 入学検定料、入学料、授業料

国立大学の標準額等を参考にしながら、学生募集要項配布時まで決定する予定です。

<参考：国立大学専攻科の標準額>

入学検定料	入学料	授業料
18,000円	169,200円	535,800円

6 授業科目及び単位数

区分	授業科目の名称	授業形態	単位数
基礎助産学	助産学総論	講義	2
	周産期医学論	講義	2
	乳幼児支援論	講義	2
	妊娠期助産診断・技術学	演習	1
	分娩期助産診断・技術学	演習	2
	産褥期助産診断・技術学	演習	1
実践助産学	助産学フィールド演習	演習	1
	周産期ハイリスク援助論	演習	1
	地域母子保健論	講義	1
	助産管理論	講義	1
	助産学実習Ⅰ	実習	3
	助産学実習Ⅱ	実習	3
	助産学実習Ⅲ	実習	3
	助産学実習Ⅳ	実習	2
	助産学実習Ⅴ	実習	1
統合助産学	助産学演習	演習	2
	助産学課題研究	演習	2
合計 (全科目：必修)			30

※ 実習施設は、札幌市内のほか道内各地を予定しているため、上記納付金の他に実習に伴う交通費、滞在費等の経費が自己負担となります。

※ 本課程を修了することにより、助産師国家試験の受験資格が得られます。

問い合わせ先： 札幌市立大学事務局 桑園担当課 e-mail：souen@scu.ac.jp
〒060-0011 札幌市中央区北11条西13丁目 TEL：011-726-2500